



「豊かな人間性をもち、たくましく 自律した子の育成」



仲良く助け合う子・自ら学びよく考える子
元気で明るい子・家庭や郷土を愛する子

R 8.2.25 No.13

1月の授業参観や懇談会、6年生を送る会リハーサルに多くの方々のご来校をいただきまして、ありがとうございました。保護者アンケートの回答を含めまして、保護者の皆様のお子様への愛情を強く感じております。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

まもなく3月、卒業や進級の春が近づいてきます。全学年とも1年間の学びのふりかえり、中学校・次の学年に向けて、ご家庭でも、お子様のがんばりを認め、励ましていただきますよう、よろしくお願い致します。

また、インフルエンザ感染症等の流行時期が続きますので、お子様の健康観察等にご配慮をいただきますようお願いいたします。

6年生を送る会を行いました

2月20日に6年生を送る会を行いました。スローガン「感謝～「さいこう」のありがとう～」のもと、1年生と4年生は歌、2年生と3年生は劇を披露し、5年生は幕間や運営等に関わりました。

6年生からは、合唱「正解」を歌って、お礼の気持ちを伝えました。

保護者の皆様には、出し物の準備等で、多くのご協力をいただきまして、ありがとうございます。また、リハーサルへの参観、ありがとうございました。



6年合唱「正解」RADWIMPS

「親子の綱引き」って？ ～かかわり方の工夫～

幼児期に「子どもが常に勝ち、親がいつも負ける」という経験を続けていると「この家では何でも自分の思い通りになる」ということが子どもに刻み込まれ、小学校に

入学すると、自分の思い通りにならない環境に大きな戸惑いを覚えて、様々な不適応を発生する可能性が高くなると言われています。また「親がいつも勝ち、子どもがいつも負ける」ケースは、健全な発達にはつながらず、自発性・積極性の欠如や将来的には家庭内暴力につながることも心配されています。

「親子の綱引き」とは、「ときには親が勝ち、ときには子どもが勝つ」とどちらか一方に偏らない勝ち負けの結果によって、子どもは「自分の思い通りになる世界」と「思い通りにはならない世界」の両方を経験し、家庭のルールにそった自己コントロールを学ぶことにつながります。

幼児期よりも心身ともに安定した児童期においても、場合によっては親子の綱引きを意識した関わり方を試み、お子様の成長につなげていただければと思います。

転出がお決まりになったらすぐにご連絡を！（お願い）

学校では、学級編成等、様々に来年度の準備をすすめています。転出がお決まりになりましたら、わかり次第すぐに担任までお知らせください。

